CHIYODA CITY
広報 千代田

平成16年(2004年)
8/5発行
特集号

発行／千代田区　編集／政策経営部広報広聴課　〒102-8688 千代田区九段南1-6-11 URL http://www.city.chiyoda.tokyo.jp

主な内容

推進プログラムの見直し……1～3
行財政構造改革推進大綱の見直し……4

問合せ
―企画総務課―
☎5211-4140～1

第三次長期総合計画
推進プログラムの見直し

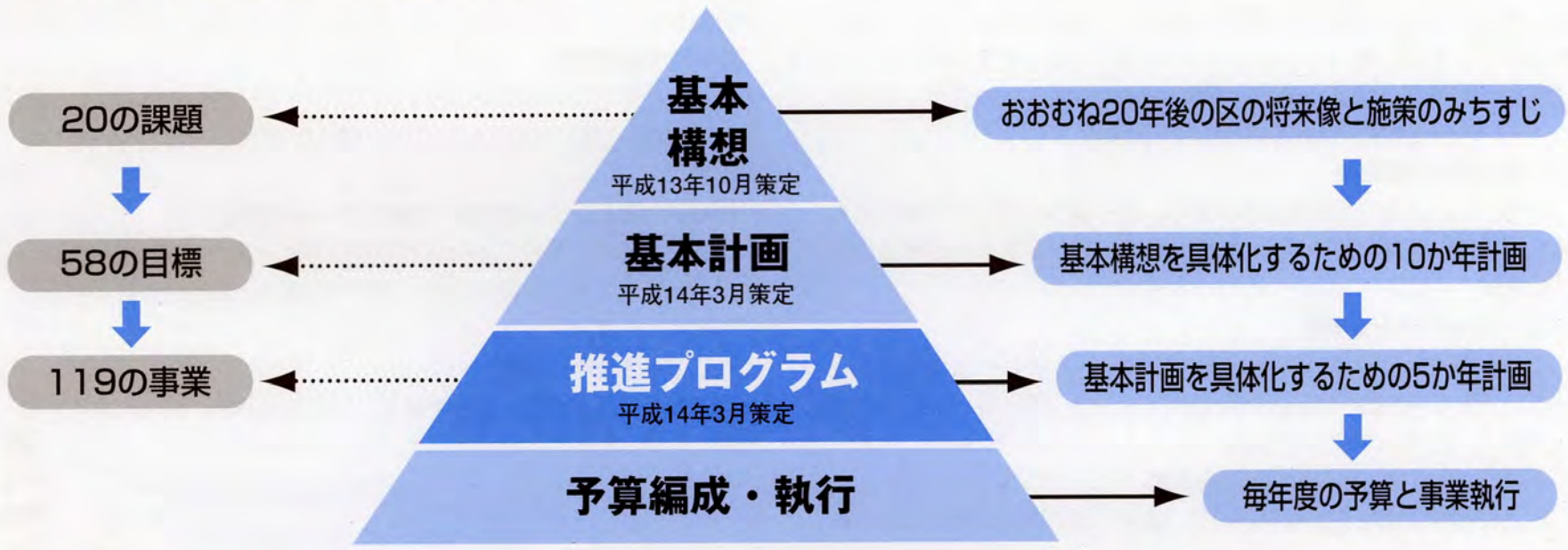
皆さんのご意見をお寄せください

推進プログラムって何だろう？

区では『千代田区第三次長期総合計画』を定め、その中でおおむね20年後の将来像を描いた“基本構想”、それを達成するための10か年計画である“基本計画”、5か年の事業計画である“推進プログラム”を策定しました。

“推進プログラム”は、区の“基本計画”における施策の目標を達成するための個別事業の計画として位置付けられています。

千代田区第三次長期総合計画の体系



郵便はがき

102-8790

109

千代田区九段南一丁目六番十一号

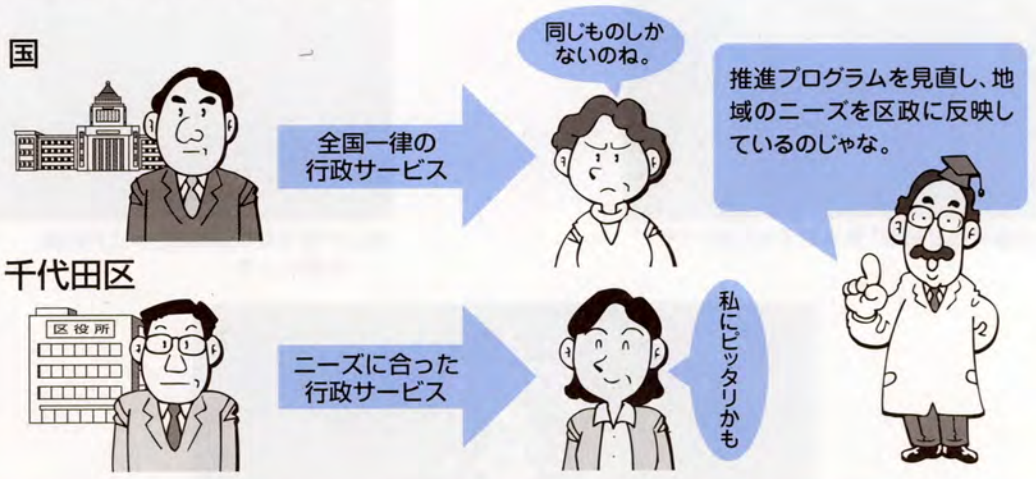
千代田区役所
企画総務課 行

料金受取人払
麹町局承認
3097
差出有効期間
平成16年9月
5日まで
切手不要

切り取り線

どうして推進プログラムを見直しするの？

『地方主権』の時代にあっては、全国一律の画一的な施策ではなく、地方自治体がそれぞれの特性を活かして、それぞれの地域に合ったサービスを提供していかなければなりません。区はこれまでも地域主体の事業を進めてきましたが、事業を定期的に見直し、地域の新たなニーズに合った事業をより強力に推進するため、“推進プログラム”の見直しを行います。見直しに際しては、平成14年度から始まった現在の“推進プログラム”の策定後に生じた新たな課題や、今年度中に策定する個別計画(文化芸術、地域防災・災害対策、次世代育成支援などの計画)との整合を図っていきます。



見直しの時期はいつなの？

計画は3年を目途に見直します。平成16年度は、現行の『第1次推進プログラム(平成14～18年度)』を見直し、平成17年度から始まる『第2次推進プログラム(平成17～21年度)』を策定します。

R100
古紙配合率100%
白色度70%の再生紙を使用しています

推進プログラム これまでの成果

平成14年度からスタートした５か年の事業計画「推進プログラム」では、119の事業を進め、これまでにさまざまな成果を上げることができました。

主　な　成　果

○生活環境条例の実施

路上喫煙に過料を科す全国初の条例「生活環境条例」を実施し、路上喫煙のパトロールや路上禁煙地区、環境美化・浄化推進モデル地区を拡大。また、放置自転車・路上放置物・ピンクチラシなどの撤去も強化し、安全で快適なまちづくりへの取り組みを全国に発信

○いずみこども園の開設

幼稚園と保育園が一体となった「いずみこども園」の開設や認証保育所の設置などにより、全国の大都市部において初めて保育所待機児童数ゼロを達成

○中等教育学校の開設準備

「千代田区の中等教育将来像」や「中等教育学校基本計画」の策定などにより、中学校と高校を合わせた６年間の一貫教育を行う中等教育学校の平成18年度開設に向けた準備を着実に進行

○高齢者介護施設等の整備

介護を必要とする高齢者等の施設として「岩本町ほほえみプラザ」「かんだ連雀」「ジロール神田佐久間町」を開設し、通所介護（デイサービス）や短期入所生活介護（ショートステイ）を提供する高齢者住宅サービスセンターが充実するとともに、特別養護老人ホームやグループホーム・ケアハウスなどの入所・入居施設も充実

○在宅介護の支援充実

在宅サービス特別給付事業を開始し、ホームヘルパーの派遣時間拡大や紙おむつの支給要件拡大、日帰りステイサービスなど区独自の支援を充実

○江戸開府400年記念事業

江戸・東京の400年の歴史や文化を振り返るとともに、地域の活性化と江戸文化の全国への発信を目指し、「江戸天下祭」などの記念事業を実施し、延べ約630万人が参加

○子育てファミリー世帯等親元近居助成

区内に10年以上居住する親がいて、区内で住み替え、または戻り転入する中堅所得層までの子育てファミリー世帯等に対し、家賃補助や転居一時金助成を実施

○高齢者向け優良賃貸住宅の供給

緊急時対応サービスやバリアフリー化など、高齢者に配慮した優良住宅の供給計画認定第１号として、15戸の住宅を供給

○障害者就労支援センターの整備など

平成16年４月、保健福祉部生活福祉課内に千代田区障害者就労支援センターを開設し、障害者の就労に関する相談や職場実習など障害者の就労支援を推進

○商工融資の充実

利用者の返済負担を軽減する借換制度を導入。また、区民及び町会加入企業への優遇や融資期間の延長など融資条件を見直し

○備蓄倉庫・避難所の整備充実

各避難所で災害時の必需品が全て収納されている「自己完結型備蓄倉庫」や被災時でも衛生的に使える下水道管に直結した仮設トイレの整備を推進

○中学校給食の実施

ミルク給食だけの中学校３校について、すでに給食を実施している２校で調理して配送する「親子方式」と運営の委託化により、完全給食を実施

○基礎学力向上プランの推進・土曜スクールの設置

少人数指導や小学校における教科担任制などのきめ細かな指導と、土曜日の体験活動、学習・文化・スポーツ活動の実施により学校教育力を充実

○秋葉原地域開発の推進

地元住民・商工業者、開発事業者、行政等の連携・協調による秋葉原地域全体の発展につながるまちづくりを推進

▲高齢者福祉施設「岩本町ほほえみプラザ」

▲江戸天下祭に参加した小江戸川越「弁慶の山車」

▲幼稚園と保育園が一体となった「いずみこども園」開園

しっかりとのりづけしてください

切り取り線

のりしろ

ご意見・ご要望

1.推進プログラムについて

解決に向けた新たな取り組み

これまでの成果を踏まえつつ、「『千代田市』を目指し、千代田区に住み、働き、学び、集う100万人の人びとや企業とともにまちづくりに取り組む」ことを基本に“推進プログラム”を見直し、次のような課題の解決に向けて新たな取り組みを行っていきます。

☆＝新たな取り組み例

地域の力をつなぎ 地域特性を活かしたまちづくり

中小企業の経営力強化やベンチャーの創業支援などを図るとともに、区民をはじめとした地域の力をつなぎ、地域特性を活かしたまちづくりを推進します

☆地域コミュニティ活動を更に活性化する　など

地域の活性化と 魅力の向上につながるまちづくり

江戸開府400年記念事業や地域コミュニティ活性化事業の実績を活かして、地域の活性化と魅力向上につながるまちづくりを推進します

☆さくらなどの貴重な緑を守り育てていく

☆千代田区の魅力を発信するための観光事業を推進する　など

▲千鳥ケ淵のさくら

安全・安心のまちづくり

防犯対策をはじめ、地域の危機管理能力を強化し、安全・安心のまちづくりを推進します

☆区内の11大学と連携して災害時のボランティア活動など地域の防災対策を進める

☆安心して自由に歩けるまちにするため公衆便所などの道路周辺施設の整備等を行う　など

▲夜間も区内を巡回する安全安心パトロール車

子どもがのびのびと育つ まちづくり

子どもの健全育成や学力の向上をはじめとして、次世代育成支援や家庭・学校・地域が共に育てる「共育」のまちづくりを推進します

☆子どもたちの放課後対策を充実する

☆子どもたちの表現力を向上させる

☆保育所待機児童ゼロを継続する　など

▲西神田保育園の子どもたち

快適な生活環境と 環境負荷の少ないまちづくり

生活環境の改善やごみの減量・リサイクル、公害対策など、環境負荷の少ないまちづくりを推進します

☆事業系ごみの大部分を占める紙のリサイクルを推進する

☆環境意識の普及啓発活動を強化していく　など

▲千代田区庁舎屋上緑化実験・見本園

高齢者がいつまでも 元気でいられるまちづくり

介護予防を充実させるなど、高齢者がいつまでも元気でいられるまちづくりを推進します

☆高齢者が在宅での生活を維持していくための介護予防を進める

☆在宅で生活を支障なく行うための住まいの改善を行う　など

障害者の安心を支えるまちづくり

障害者支援をさらに充実し、障害者が安心して生活できるまちづくりを推進します

☆知的障害者が働く場を提供する

☆通所授産施設を新庁舎内に設置する　など

新庁舎整備に伴う総合的な サービスの向上

総合窓口、電子自治体の推進など、新庁舎整備に伴い総合的にサービスを向上します

☆新庁舎の情報基盤を整備する

☆新庁舎内に図書館本館や防災センターなどを整備する　など

▲新庁舎完成予想図（平成19年2月完成予定）

2.行財政構造改革推進大綱について

切り取り線

のりしろ

皆さんのご意見をお待ちしています

区では、皆さんのご意見をもとに、推進プログラム・行財政構造改革推進大綱を見直していきます。「こんな視点を入れた方がいい」「こんなことをやってみてはどうだろうか」など、ご意見・ご要望がありましたら、左のはがきにご記入のうえ、８月31日㈫までにご投函ください。皆さんの貴重なご意見をお待ちしております。

なお、ご意見・ご要望はＥメールでも受け付けています。

mail c.soumu@jasmine.ocn.ne.jp

区政の構造改革を推進

行財政構造改革推進大綱の見直し

行財政構造改革推進大綱って何だろう？

“行財政構造改革推進大綱”は、区政運営の効率化やサービス提供方法の見直しなどにより、区民満足度の高い区政運営を確立していく目的で、平成14年3月に策定されました。平成18年度までの5か年を計画期間として、数値目標として「経常収支比率※1 85%程度」「人件費比率※2 25%程度」を掲げ、4つの基本課題への取り組みを通じて、区政の構造改革を進めています。今年は計画の3年目に当たりますが、これまでの取り組み状況をお知らせします。

※1　経常収支比率＝区税などの一般財源が、人件費など経常的に支出される経費にどれだけ充てられているかを見る指標
※2　人件費比率＝区の歳出に占める人件費の割合

4つの基本課題とこれまでの主な成果

内部努力の徹底

- 職員の新規採用を停止するなど、職員数・総人件費の削減を進め、財政体質を改善
- 「事業部制」を導入し、庁内分権によるサービスの効率化・迅速化を推進

財政の健全化

- 経常的経費の見直しにより、数値目標（経常収支比率85%程度、人件費比率25%程度）を達成
- 区税滞納整理の促進や基金の再編などを進め、財源を確保

経営的視点を導入した行財政運営の確立

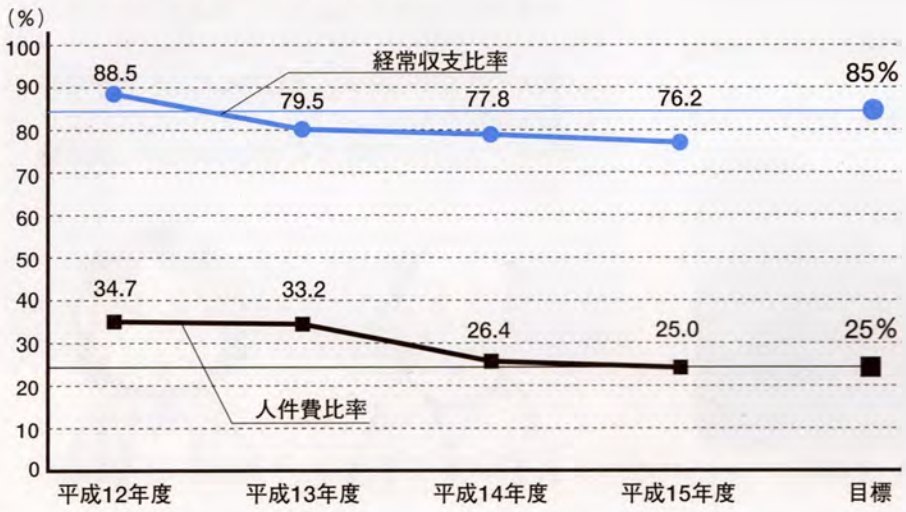
- 給食調理の委託など、業務の民営化・委託化を進め、より効果的・効率的なサービス提供を推進
- PFI(※)手法による新庁舎整備事業を推進し、経費を削減
- 民間会社による接客調査や福祉サービスの第三者評価など、外部評価を実施

※PFI＝公共施設等の建設や維持管理などを民間の資金や技術的能力を活用して行う方法

区民の満足度と成果を重視する区政運営

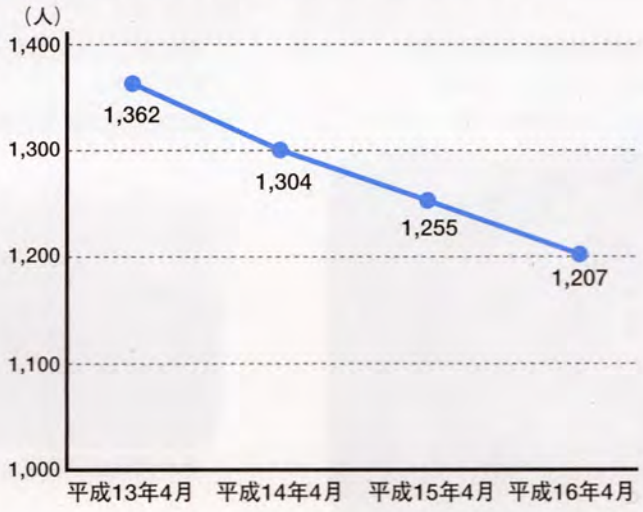
- 事務事業評価を実施し、その結果を次年度の一部予算に反映

■経常収支比率と人件費比率の推移



※ グラフ中の数値は、総務省地方財政状況調査による普通会計決算の数値である
※ 平成13年度の人件費比率は、基金再編による影響額439億4,308万円を除いて計算している

■職員数の推移（目標：職員定数300人程度の削減）



財政的な効果

- 職員数の削減などによる人件費の削減額（平成14～15年度）　約19億4千万円
- 区有財産（鎌倉臨海学園など）の売却による収入増　約6億2千4百万円

これからの大綱はどうなるの？

現在の行財政構造改革推進大綱の達成状況を踏まえ、新たな視点を追加して見直していきます。

①民間事業者による公共施設の管理運営を行うなど、『民間の視点』を取り入れた効率的・効果的な区政運営を行います

②区民・企業・大学・ボランティア・ＮＰＯ等との『協働』をより一層重視した区政運営を行います

③『人材育成』に取り組み、職員の能力開発を行います。また、職員の能力や業績を人事・給与に反映させ、意欲や主体性を醸成していきます

▲民設民営の特別養護老人ホーム「かんだ連雀」

切り取り線

CHIYODA CITY

在住・在勤・在学・その他（いずれかに○をつけてください）			
年　代	代	性　別	男　・　女
ご住所または所在地	千代田区　　丁目		